

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ふくら翼・渚（ふくらトータルケアつくば）			公表日	2026年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	利用者様の人数によって1階・2階フロアに分かれ、適切にスペース確保されている。ご持参の医療機器や荷物を整頓し、一人ひとりのスペースや自由に動けるスペースを確保できるよう努めている。	土曜日、祝日や行事があるときにもう少しスペースが確保出来ると思う。荷物管理方法を工夫し、最大限活用出来るようさらに努めていきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1	送迎にでるスタッフや残っているスタッフで役割分担をしながら、安全性が保たれている。利用者さんが多くても少なくても、活動内容の充実や環境整備等、その日のスタッフ数でできることを最大限に行っていると思う。	送迎や入浴介助などでスタッフが分散されてしまう時間帯があるが、利用者様が安全に過ごせるよう都度スタッフ配置を見直しながら対応していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	スロープがあったり、各部屋は段差がない。元々あった建物の利用していることで、カウンターや柱などで死角になる部分も多いが、子ども達の居場所確保をその日の体調を踏まえつつ工夫している。子どもたちも、ここに行けばおもちゃがあるなど、物の位置など理解できており、わかりやすく配置していると思う。	お風呂はもう少し、バギーの入りやすさなど改善してもらえると、子どもたちもスタッフも安全で快適に入浴サービスが受けられるのではないかなと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	環境整備は、常々スタッフ間で行なっていると思う。また活動内容によって、空間を上手に使えるよう工夫して行っていると思う。	場所の確保などは今でも工夫しているが、さらに動ける子ども達には自由に動けるスペースをしっかり作れると思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1		1人になれる場所は限られていて、利用人数によっては使用できないこともあり、難しいこともあると思う。しかし、どうしたら個別の対応ができるのかなど、みんなで考えて行ってると思う。空間は限られているので、そこをもっとうまく使えるようにこれからも話し合っていければと思う。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	ミーティングにて目標設定や振り返りを行い毎日の朝の会で報告している 失敗したことインシデントは、みんなで共有してどんな対策をしたら同じことが起きないのかを考えることが、できていると思う。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	送迎時などで直接お話しする機会を使い、家族と利用者さんの情報をしっかりと共有している。 送迎時など保護者の方とお話している中で、いろんな要望があり、それをそれぞれのスタッフが受けてきているが、適切に共有してどうしていくかを話し合い、改善することができていると思う。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	アンケートやミーティングでの話し合いや、必要時は臨時でカンファレンスをし業務改善に努めている。活発に意見交換が行われています。常に、管理者の方がスタッフの話を聞いてくれていて、改善すべきところはどうすべきかを話し合っていると思う。ミーティングなどでも出た意見は、検討したりして改善できるように動いてくださいというと思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	インシデント発生状況や集計方法など外部からのアドバイザー意見を元に、業務改善に繋げていると思う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	フォローアップ研修や、毎月の勉強会など。知識を高めるための時間をとってくださっていて、向上心をもって業務にあたっていると思う。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ご自宅だけでなく他療育施設や学校などでの様子も共有し、個別プランを立てている。モニタリングから、その子の状況を正確に把握し、その子のためにどうアプローチしていくかを書面に記して、共通認識として分かりやすくなっている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		

適切な支援の提供	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		その場にいるスタッフだけでのカンファレンスになってしまうこともあるので、必要時はみんなでカンファレンスをする機会を多く作れると良いと思う。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	身近なところに計画書を置くことで、目が届きやすく、直ぐに確認することが出来ている。常に目標や行動計画が確認できるのが良いと思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	前月と照らし合わせて同じような活動が連続していないかや、季節や暦の行事なども取り入れられている。係以外でもスタッフ同士で、活動内容の提案など活発に意見交換が出来ている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	他の事業所での活動内容を参考にしたり、係内で分担することでいろんなスタッフの意見が生かされていると思う。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝の会で情報共有出来ている。活動内容計画書の記入、朝の会後に担当から説明があることでその日居るスタッフと共有を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	毎回必ずではないが、課題が残る活動だった場合は自然と会話になり、振り返りが出来ている印象がある。振り返りと言わずともスタッフ間のコミュニケーションの中で、良かった点なども伝えあえていると思う。	支援終了後に情報交換をする時間を作る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1		徹底してまではやれていない部分があると思う。これから改善していけるようスタッフ間で声掛けを行いながら取り組んでいきたい。
関係機関や保護者との	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		事業所としては提供しているかもしれないが、自分はそのままで意識出来ていない部分も正直あるので、スタッフの意識化を図っていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	必ず子どもたちの選択を尋ねながら、言葉以外でのコミュニケーションでも意思表示を支援できるような関わりをしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	移行支援として話し合いを行った。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1		きょうだい同士までは分らないが、行事などを通じてそういう機会を設けている。今後さらに機会を増やしていけたら、という提案も出ている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	必要時はWORKSも利用しながら周知徹底していると思う。(苦情という表現ではなく、ご家族からのお願いという表現を使いながら)	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	実績板の置き方1つや、書類にしても外部から名前表示が見えないよう工夫している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	言葉の表現に注意し、連絡帳記載などしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	昨年は夏祭りを地域の方を招いて実施した。まだ夏祭り地域の方たちとの交流を始めたので、これから続けていくことができればと思う。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		さらに情報の更新やマニュアルの整備、訓練の機会を増やして行けると良いと思う。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	実際に災害を想定した模擬、避難訓練を子ども達と一緒に実施。呼吸器の付いているお子さんはもちろん、その子のできるだけ機能を使いながら、素早く行動できるように、スタッフで持ち出す物の位置などを共有している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1		全員が共通では言い切れず、今後の課題になると思う。今一度話し合って行きたい。
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		定期的な見直しをモニタリングなどに組み込んで行けると良いのではないかと。	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		